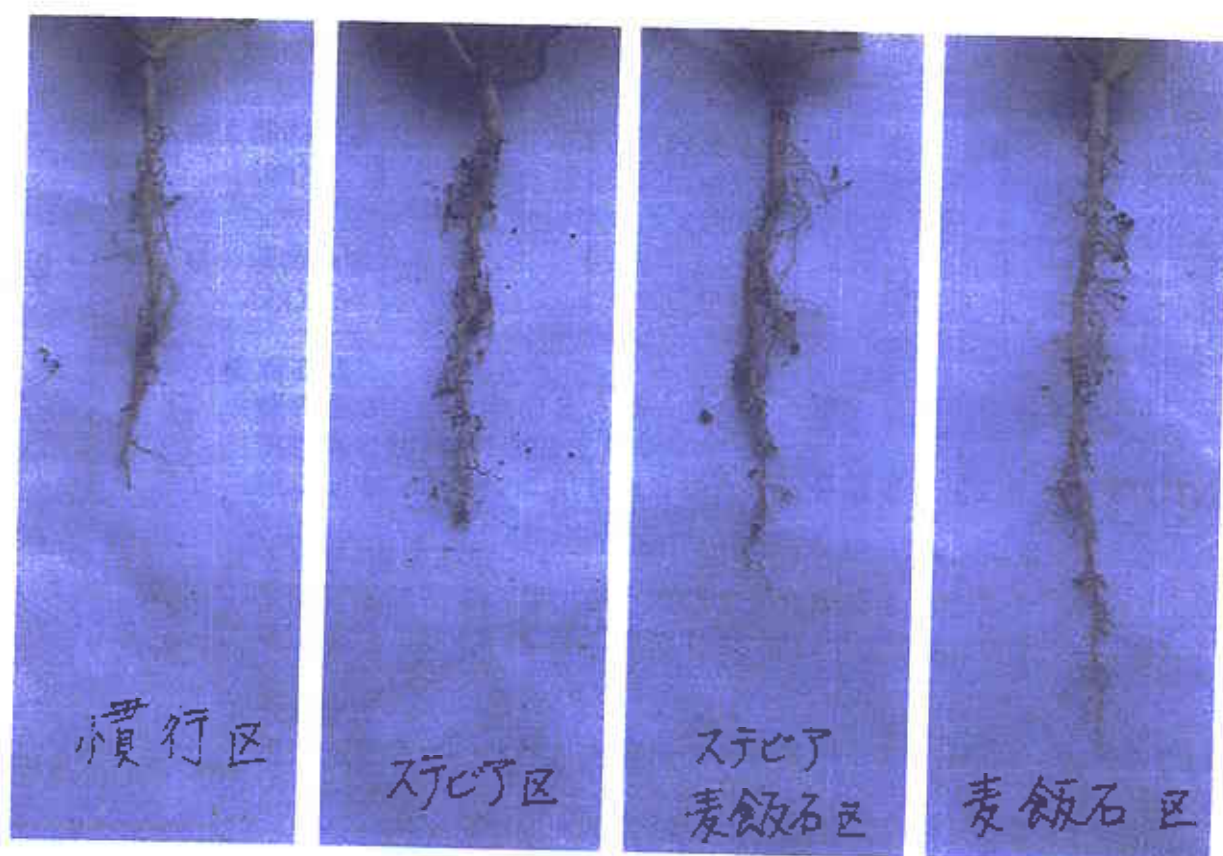


麦飯石効果試験

2004. 5. 17

NO. 2



麦飯石効果試験

2004. 5. 17
NO. 1

作物 ホウレン草
品種：改良パッカー（ベト病抵抗性レース7）

試験場所 茨城県鹿島郡旭村

栽培概要 栽培方法：雨よけハウス
施肥量：化成肥料20kg（14-8-12）
播種日4月1日

試験方法 2間×50mのハウスを慣行区・ステビア区・ステビア+麦飯石区・麦飯石区
に区分けし各区を比較した。
※各区45㎡
※ステビア区：ステビア7270g（ペレット）※ステビア+麦飯石区：ステビア7270g+麦飯石135g
※麦飯石区：麦飯石180g

調査方法 各区のホウレン草を任意で根を付けたまま抜き取り、根の長さ、地上部の
長さ、葉の展開枚数を調査。

結果

	慣行区	ステビア区	ステビア + 麦飯石区	麦飯石区
根の長さ (cm)	19	16.5	19	25
地上部の長さ (cm)	17	17.5	20	23
葉の展開枚数 (枚)	11	13	14	14

麦飯石区

根の長さ、地上部の長さが一番良く、葉の展開枚数も多かった。
慣行区と比べ約1週間生育が早かった。
根コブセンチュウに犯されていたが、各区で一番の生育を示した。

ステビア+麦飯石区

麦飯石区ほどではないが、順調な生育が見られた。
葉は麦飯石区と同じ展開枚数であった。

ステビア区

根が一番短かったが、毛細根が一番多かった。